CODE　８０００－０５１　ソフト付通信ケーブル（ＲＳ－２３２Ｃ対応）
CODE　８０００－４１２　ソフト付通信ケーブル（ＵＳＢ（Ａ）対応）

ソフト付通信ケーブル

8000－051対応機種：LD－3、LD－3K、LD－1H_2、
LD－3B、LD－3K2
LD－5D
8000－412対応機種：LD－3B、LD－3K2
LD－5D

取　扱　説　明　書

この度は、当社製品をご購入いただき誠にありがとうございました。
ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
本装置の取扱い方につきましては、次頁以降の説明に基づいてお願い致します。
お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。
なお、ご不明な点は当社営業部又は営業所に直接ご連絡ください。

柴田科学株式会社

⚠ 正しく、安全に使用するために

本装置の取扱い方については、取扱説明書を最後までよくお読みいただき、正しくご使用ください。また、いつも手元に置いてご利用ください。
なお、当社製品全てに関する注意事項ですので本製品に該当しない項目も含まれています。

⚠ 使用の前に

（必ずお読みになり、取扱いには十分注意してください。）

△ 装置は安定したところに水平に設置してください。
△ 本機は防爆仕様ではありませんので、可燃性、引火性物質の近くでの使用はお止めください。
△ **『改造修理禁止』**分解や改造等をした場合は当社の保証外となりますので絶対にしないでください。
思わぬ故障や事故を起こす原因となることがあります。
△ 故障の場合はすみやかに修理をご依頼ください。故障のままや自家修理での使用は思わぬ事故を起こす原因となることがありますので、絶対に止めてください。
△ 汚れを落とす場合は、柔らかい布（汚れがひどい時は中性洗剤をしみ込ませて）でふき取ってください。
△ 装置から煙が出たり、異常な音がする場合には直ちに装置の使用を中止して、電源スイッチを〔切〕にして、電源プラグを電源コンセントから抜き修理をご依頼ください。
△ 電源プラグを抜くときには電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。そのとき濡れた手で抜かないでください。感電することがあり危険です。
△ コードを折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎたしたりしないでください。
△ コードの傷、断線、プラグの接触不良にお気付きの場合は、直ちに使用を中止して修理を依頼してください。

目　　次

ページ
1．機能 1
2．仕様 1
3．注意事項 2
4．構成 3
4．1．CODE　8000－051 3
4．2．CODE　8000－412 3
5．ソフトウェアのインストール 3
5．1．LD－3シリーズ用通信ソフトのインストール 3
5．2．USBドライバのインストール 7
5．2．1．Windows　XPマシンへのインストール 7
5．2．2．Windows　98、Windows　Meマシンへのインストール 14
6．LD－3シリーズ用通信ソフトのアンインストール 21
7．プログラムの起動 22
7．1．LD－3とPCの接続 22
7．2．プログラムの起動 22
7．3．起動時の画面 22
7．4．メニュー選択画面 23
7．4．1．READ 23
7．4．2．SET 26
7．4．3．DEL 29
7．4．4．HELP 31
7．4．5．終了 31
8．エラー表示画面 31
8．1．接続エラー 31
8．2．通信エラー 32
8．3．ロギングデータエラー 32
9．保証 33

１．機能

本ソフトウェアは、デジタル粉じん計ＬＤ－３Ｂ、ＬＤ－３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄ、ＬＤ－３、ＬＤ－３Ｋ、ＬＤ－１H_2型、（以下ＬＤ－３）専用のパーソナルコンピュータ（以下ＰＣ）通信プログラムです。

本ソフトウェアを使用することにより、ＰＣからＬＤ－３へ設定情報を転送したり、ＬＤ－３で取得したデータをＰＣへ転送することが可能です。ＰＣとＬＤ－３との接続は専用通信ケーブルを使用します。なお通信形態はＲＳ－２３２ＣまたはＵＳＢ方式を利用します。

以下の手順に沿ってご使用ください。

２．仕様

• 動作ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑ（以下ＯＳ）	日本語 Windows98/Me/XP(HOME & PROFESSIONAL)* *Windows は Microsoft 社の登録商標です。
• パーソナルコンピュータ	上記ＯＳが動作するパーソナルコンピュータ
• ＣＤドライブ	ＣＤドライブが１基必要　（インストール時）
• 通信用ポート	RS-232C 用　D-SUB　9P コネクタ　または USB A コネクタ　１ポート必要 またコンピュータ上で本機能が正常に動作していること。
• その他周辺機器	上記ＯＳ下で完全に動作が確認されているもの

使用ＰＣ、及び周辺機器につきましては、一般的な器材で動作を確認していますが、一部機種におきまして正常に動作しない場合もあります。

その際は当社営業所までご連絡ください。

本仕様は特性、機能に影響のない範囲で予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

3．注意事項

通信ｿﾌﾄｳｪｱご使用に際して

ご注意

本ｿﾌﾄｳｪｱはお客様が本使用許諾契約の内容にすべて同意される場合にかぎり、お客様が本ｿﾌﾄｳｪｱを使用できるものといたします。ﾊﾟｯｹｰｼﾞを開封すると、本使用許諾に同意したものと判断いたします。ｲﾝｽﾄｰﾙ開始前に本使用許諾契約をよくお読みください。

お客様が本使用許諾契約に同意されない場合、本ｿﾌﾄｳｪｱは使用できないものとします。この場合は柴田科学株式会社、または販売代理店に本ｿﾌﾄｳｪｱ（ｾｯﾄ品については全て）をご返却ください。

事前注意事項

本ｿﾌﾄｳｪｱのｲﾝｽﾄｰﾙ、初期起動操作及びお客様のご使用のﾊﾟｰｿﾅﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾀに関わる設定はお客様ご自身で実行してください。

当社及び販売代理店では、当該ｿﾌﾄｳｪｱに関わるお客様のﾊﾟｰｿﾅﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾀを直接操作することを禁じています。

（ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸの大容量化のため、設定等に関わる操作を当社または販売代理店の担当者が行い、万一事故が発生した場合にﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ保存内容の保証問題に発展します。本件に関わる事故を防ぐためにもｲﾝｽﾄｰﾙ作業、及び設定変更は必ずお客様側で行ってください。）

ｲﾝｽﾄｰﾙ方法、操作方法が不明な場合はﾊﾟｰｿﾅﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾀ本体の取扱説明書、または本ｿﾌﾄｳｪｱの取扱説明書の該当部分をお読みください。

使用許諾契約及び保証

許可事項

ｲﾝｽﾄｰﾙ CD-ROM から展開された実行型式ｿﾌﾄｳｪｱまた関連添付ﾌｧｲﾙを１式だけ、１台のｺﾝﾋﾟｭｰﾀで使用すること。

本ｿﾌﾄｳｪｱのｺﾋﾟｰをﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟの目的で１つだけ作成すること。または本ｿﾌﾄｳｪｱをｺﾝﾋﾟｭｰﾀのﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸにｺﾋﾟｰし、ｵﾘｼﾞﾅﾙの磁気媒体をﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟの目的で保管すること。

禁止事項

本ｿﾌﾄｳｪｱに付属している取扱説明書などの文書の複写及び、配布を行うこと。

本ｿﾌﾄｳｪｱの一部または全部に関して、その使用権を再設定すること。

本ｿﾌﾄｳｪｱのｿｰｽｺｰﾄﾞを調べたり、本ｿﾌﾄｳｪｱを模倣した製品を作る目的でﾘﾊﾞｰｽ・ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ、逆ｺﾝﾊﾟｲﾙ、逆ｱｾﾝﾌﾞﾙ、修正、翻訳を行うこと。

本ｿﾌﾄｳｪｱのｳﾞｧｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟ用の磁気媒体または以前のｳﾞｧｰｼﾞｮﾝとそっくり置きかえられる新ｳﾞｧｰｼﾞｮﾝを受け取った場合に、その後も本ｿﾌﾄｳｪｱの以前のｳﾞｧｰｼﾞｮﾝまたはｺﾋﾟｰを使用すること。

保　証

本ｿﾌﾄｳｪｱの機能には不具合が無いことを充分検証していますが、全てのﾊﾟｰｿﾅﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾀ及び周辺機器で動作できる環境に即していない場合が考えられます。この場合、柴田科学株式会社は適応できる範囲内での不具合を改善した代品を提供いたします。（動作 OS に依存するものについては対応できかねます）

本書はお客様が本ｿﾌﾄｳｪｱに必ずや満足されることを保証するものではありません。また本ｿﾌﾄｳｪｱの内容にまったく誤りがないことを保証するものでもありません。

損害賠償

本使用許諾契約及び保証書補償条項の対象如何に関わらず、柴田科学株式会社は、特定の損害、間接損害、その他本ｿﾌﾄｳｪｱのｲﾝｽﾄｰﾙ、また操作による一切の責任を負いません。具体的な損害として、本ｿﾌﾄｳｪｱの使用によって、お客様が何らかの利益を受け損なったり、ﾃﾞｰﾀが消失してしまった場合や、本ｿﾌﾄｳｪｱが使用不能になったりした場合も含まれます。そのような損害が生じる可能性について柴田科学株式会社が以前から警告していたとしても、損害に対する責任を柴田科学株式会社が負うことはありません。

どんな場合にせよ、柴田科学株式会社の賠償責任が、本ｿﾌﾄｳｪｱのご購入代金を超えることはありません。上記の責任限定、免除規定は、お客様が本ｿﾌﾄｳｪｱを返品するか否かに関わらず適用されます。

４．構成

本ソフトウェアセットは以下の部材で構成されています。
お買い求めの際、必ずご確認ください。

４．１．ＣＯＤＥ　８０００－０５１

（１）ソフトウェアＣＤ－ＲＯＭ　　１枚
（２）専用通信ケーブル　　１本
　　ＲＳ－２３２Ｃ通信ケーブル
（３）取扱説明書（本書）　　１部

４．２．ＣＯＤＥ　８０００－４１２

（４）ソフトウェアＣＤ－ＲＯＭ　　１枚
（５）専用通信ケーブル　　１本
　　ＵＳＢ（Ａ）通信ケーブル
（６）取扱説明書（本書）　　１部

５．ソフトウェアのインストール

５．１．ＬＤ－３シリーズ・ＬＤ－５Ｄ用通信ソフトのインストール

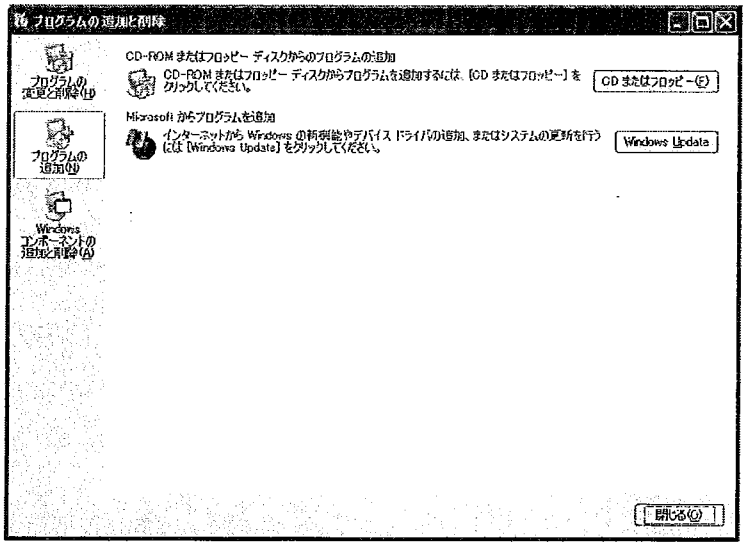
ＰＣのＣＤドライブに「ＬＤ－３シリーズ・ＬＤ－５Ｄ用通信ソフト」のＣＤ－ＲＯＭを入れると、自動的にインストールが実行されますが、お手持ちのＰＣの設定等で自動的に実行されない場合は、次の手順でインストールを実行してください。（自動的にインストールが実行される場合は（５）よりお読みください。）

ソフトウェアの再インストール、バージョンアップの際にはアンインストール（削除）する必要があります。（６．ＬＤ－３シリーズ・ＬＤ－５Ｄ用通信ソフトのアンインストール　参照）

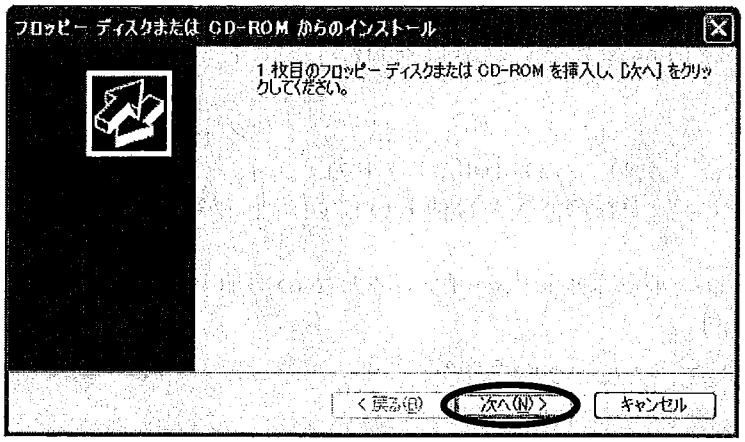
以下はWindows XPを例に記載します。ＰＣの設定及び他のＯＳでは画面が変わる事があります。

（１）「スタート」より「コントロールパネル」内の「プログラムの追加と削除」を開き、「プログラムの追加(N)」を開きます。

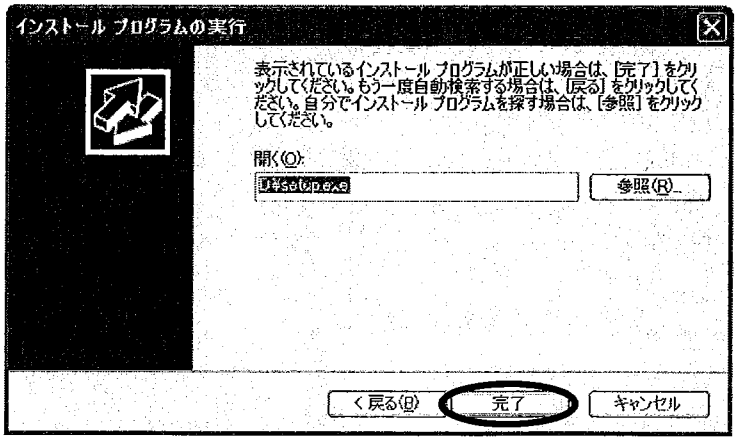
（2） 「ＣＤまたはフロッピー(F)」をクリックします。



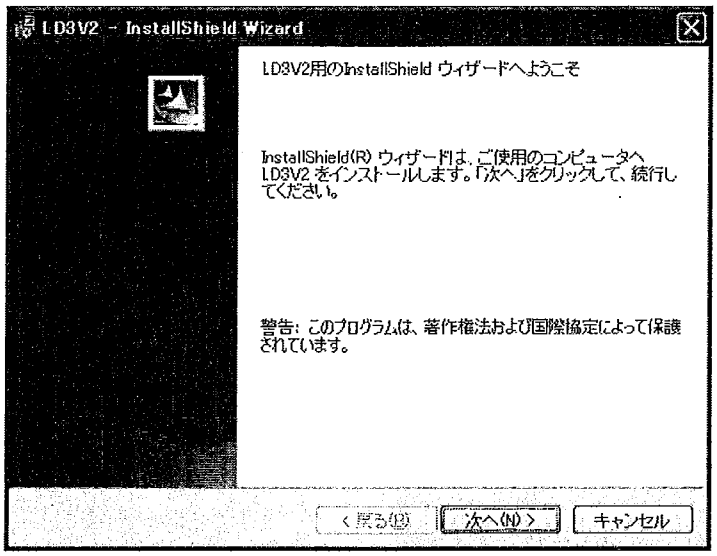
（3） 下の画面が出たら「ＬＤ－３シリーズ・ＬＤ－５Ｄ用通信ソフト」のＣＤ－ＲＯＭをＰＣのＣＤドライブに入れ、「次へ(N)」をクリックします。



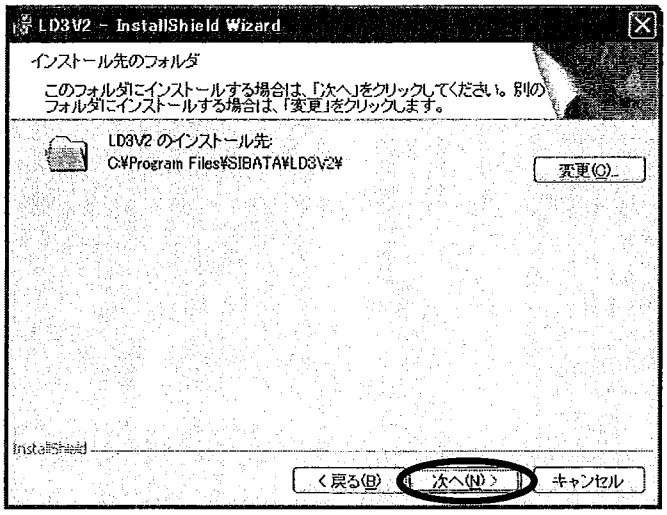
（4） ＣＤドライブ内の「setup.exe」が表示されているのを確認し、「完了」をクリックします。



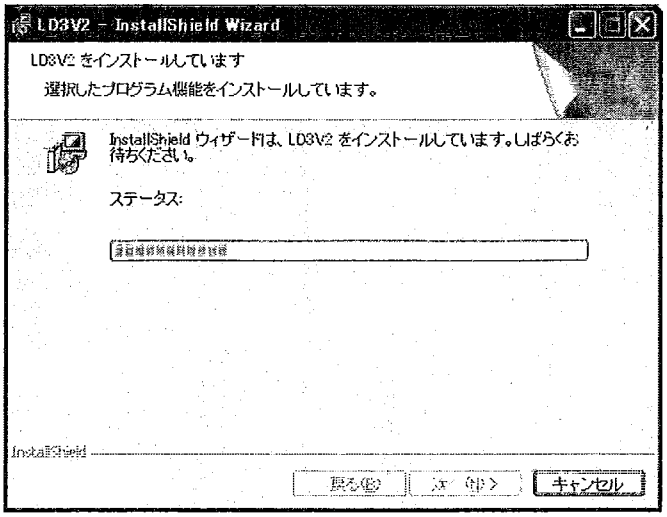
（5） 「次へ(N)」をクリックします。



（6） インストール先を変更する場合は「変更(C)」をクリックして、フォルダを指定してください。変更しない場合は「次へ(N)」をクリックします。



（7） インストールが開始されます。



（8） 次の画面が出るとインストールは終了です。「完了(F)」をクリックしてください。

（9） ＣＤ－ＲＯＭを取り出し、大切に保管してください。

５．２．ＵＳＢドライバのインストール

ＵＳＢドライバのインストールはＵＳＢ通信ケーブル（ＣＯＤＥ８０００－４１２）を使用する場合に必要となります。ＲＳ－２３２Ｃ通信ケーブル（ＣＯＤＥ８０００－０５１）を使用する場合には必要ありません。

デジタル粉じん計ＬＤ－３Ｂ、ＬＤ－３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄ、はＵＳＢインターフェースを備えています。

デジタル粉じん計のＩ／Ｆ（インターフェース）をＵＳＢ－Ｉ／Ｆに設定するとＵＳＢインターフェースを介しての通信が可能になります。

ただし、この機能を使用するためにはＵＳＢドライバをＰＣにインストールする必要があります。一度インストールすれば二度目以降はインターフェースを意識することなく使用する事が出来ます。

ＵＳＢドライバはＰＣのＯＳ（オペレーティングシステム）により２種類ありますので、お使いのＰＣに合わせてインストール作業を行ってください。

※ＬＤ－３Ｂ、ＬＤ－３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄを以下ＬＤ－３として説明します。

５．２．１．Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＸＰマシンへのインストール

（１）　ＰＣの電源をＯＮし、Ｗｉｎｄｏｗｓを起動させます。

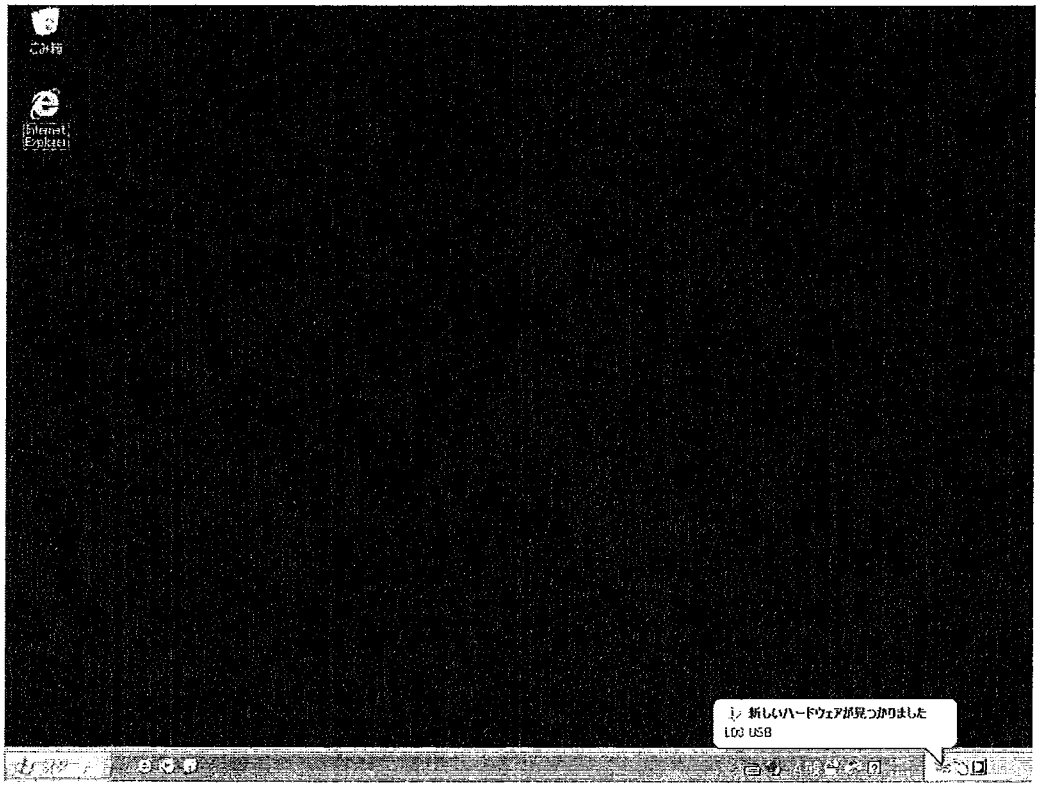
（２）　ＬＤ－３のＰＯＷＥＲ（電源）をＯＮします。

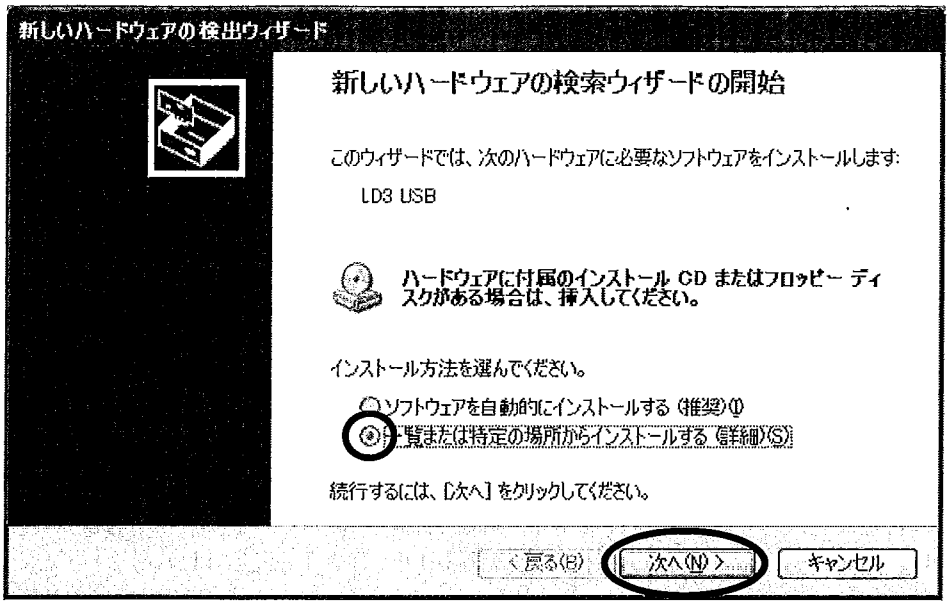
（３）　ＬＤ－３のＩ／Ｆ（インターフェース）がＵＳＢ－Ｉ／Ｆに設定されている事を確認します。違う場合にはＵＳＢ－Ｉ／Ｆに設定に設定します。

（４）　ＬＤ－３が測定開始可能状態である事を確認します。測定中またはメニュー画面が表示されている状態では通信が出来ません。

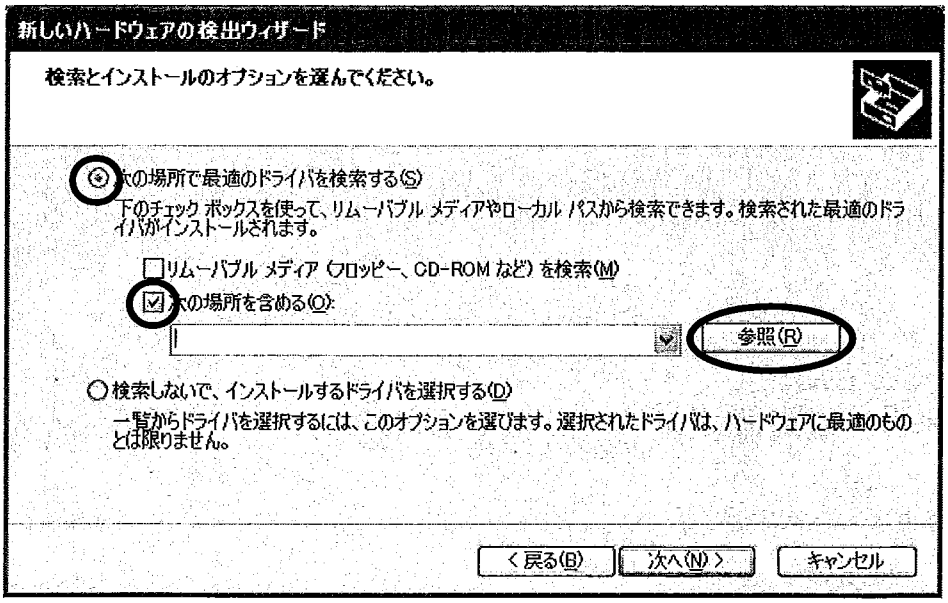
（５）　ＵＳＢ通信ケーブルでＰＣとＬＤ－３（ＤＩＧＩＴＡＬコネクタ）を接続します。

（６）　しばらく待つとＰＣがＬＤ－３の接続を認識し、次の画面を表示します。
一度ＵＳＢドライバが正常にインストールされると、これ以降の画面は表示されません。





（7） 一覧または特定の場所からインストールする（詳細）（S）を選択し、「次へ(N)」をクリックすると、次の画面を表示します。

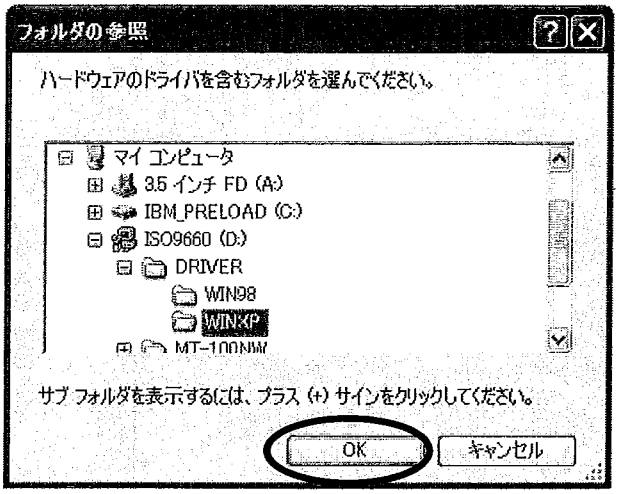


（8） 次の場所で最適のドライバを検索する（S）を選択し、続いて次の場所を含める（O）を選択します。

ＣＤドライブに「ＬＤ－３シリーズ・ＬＤ－５Ｄ用通信ソフト」のＣＤ－ＲＯＭを入れます。

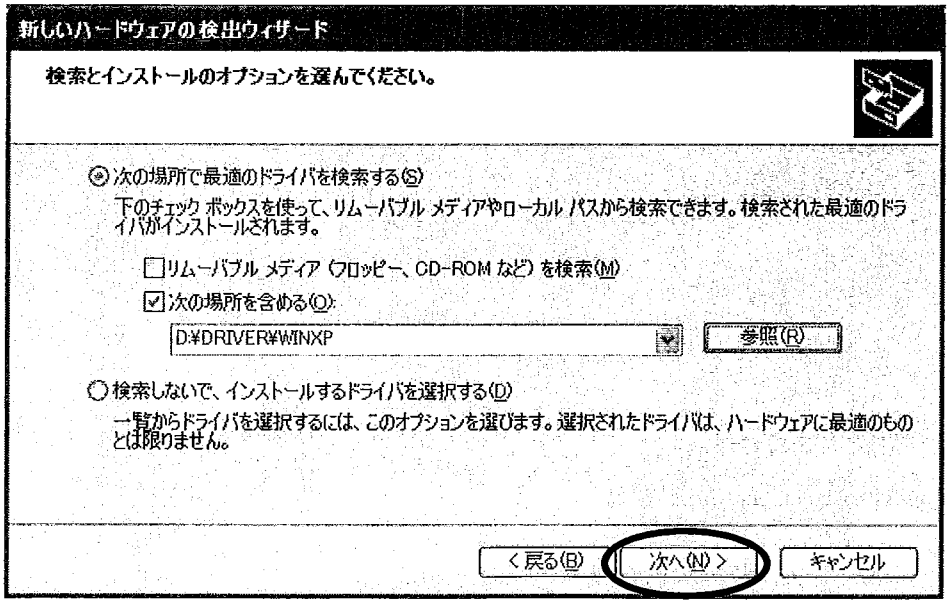
この操作以降、「ＬＤ－３シリーズ・ＬＤ－５Ｄ用通信ソフト」のインストールプログラムが起動してしまった場合には、「キャンセル」をクリックしてインストールプログラムを終了してください。

（9） 次に「参照（R）」をクリックしドライバの場所を指定します。

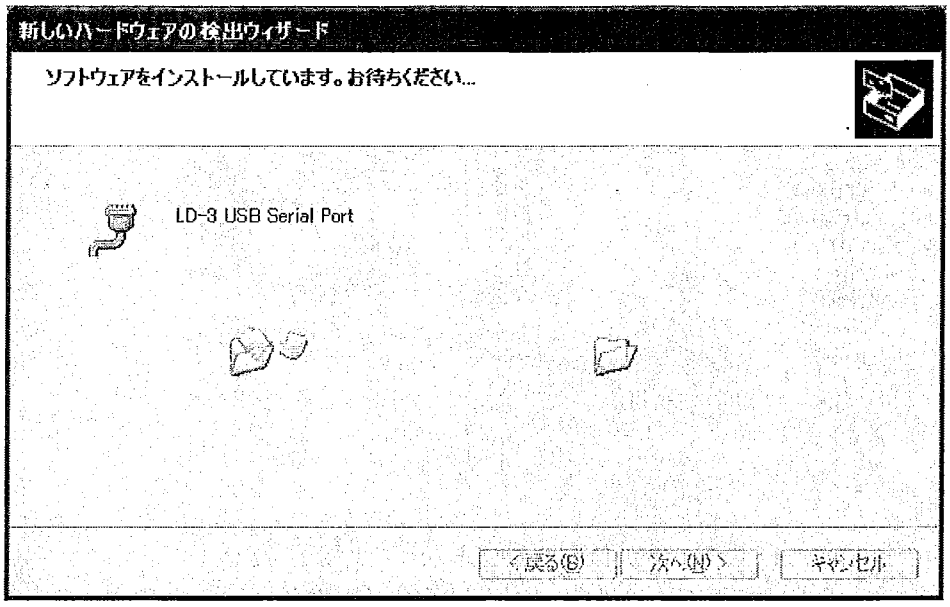


この画面の例ではＣＤドライブがＤドライブとなっていますので、
Ｄ：ドライブ→ＤＲＩＶＥＲフォルダ→ＷＩＮＸＰフォルダ
を指定しています。
ＣＤドライブ番号は御使用のＰＣ環境によって変わりますので実際のＣＤドライブ番号を指定してください。

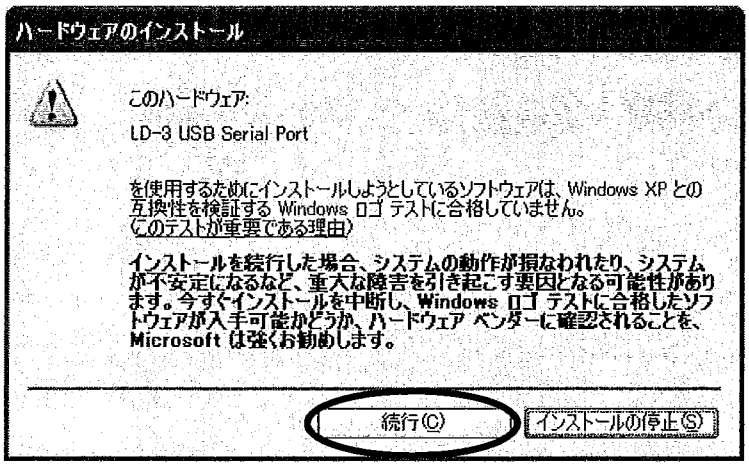
（１０）「ＯＫ」をクリックすると次の画面が表示されます。

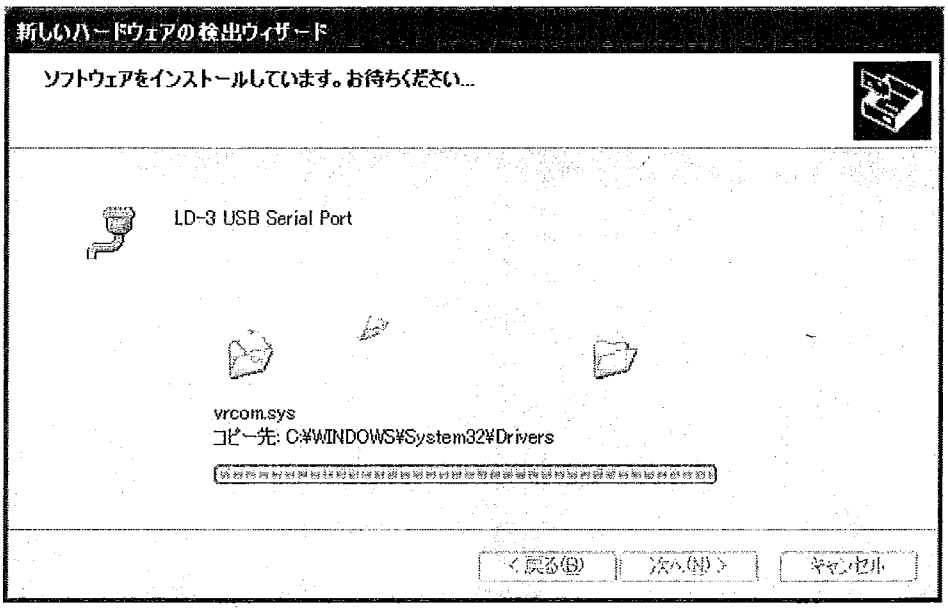


（１１）「次へ(N)」をクリックするとインストールが始まります。

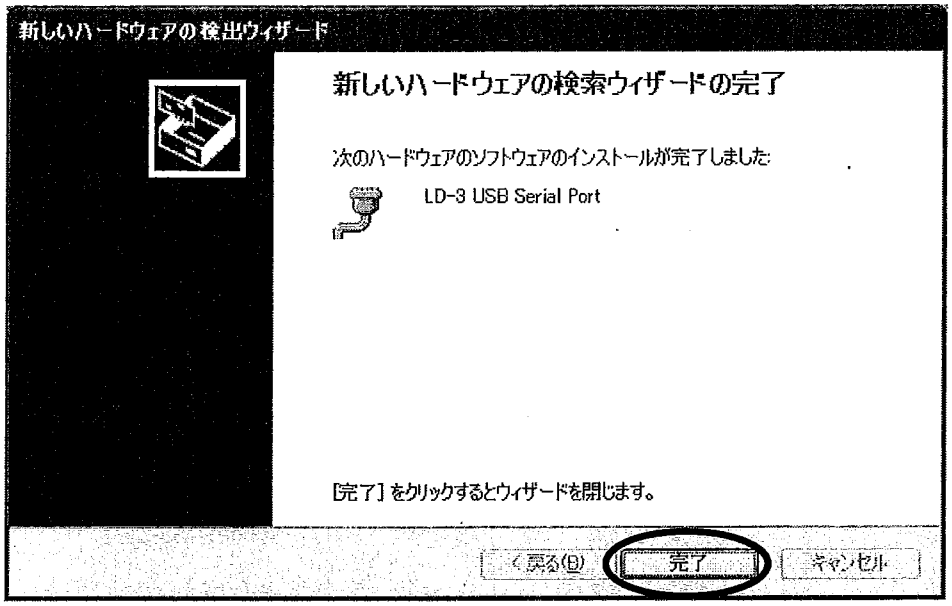


（１２）途中で次のような画面が出ますが、「続行（C）」をクリックしてそのままインストールを続行してください。





（１３）インストールが終了すると次の画面が表示されます。



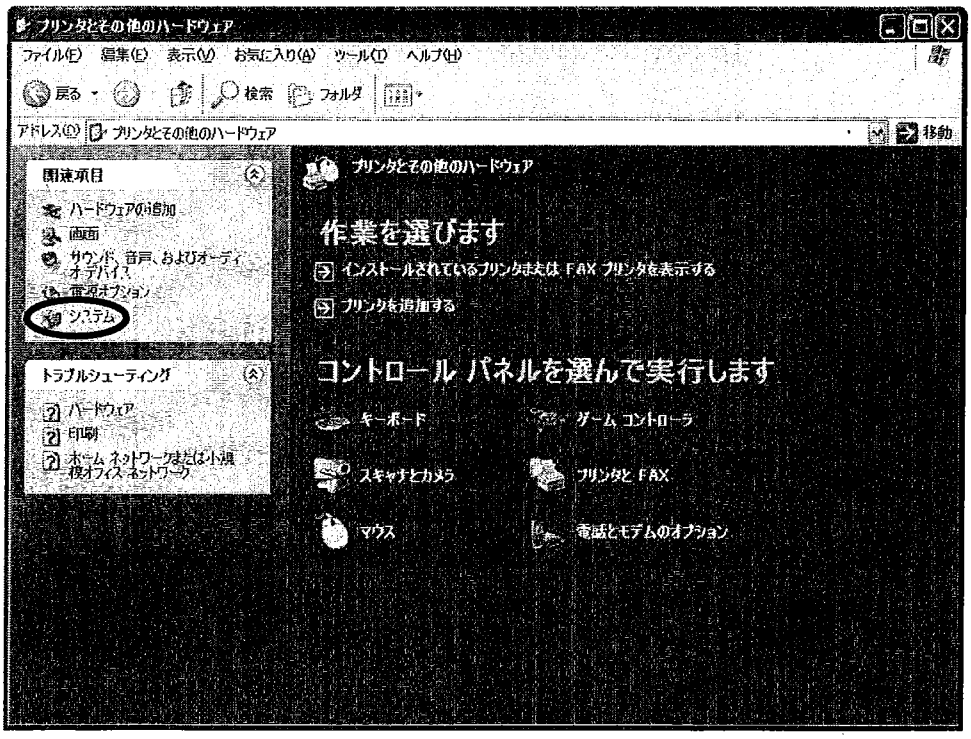
（１４）「完了」をクリックしてインストール作業を終了します。

（１５）ＣＤ－ＲＯＭを取り出し、大切に保管してください。

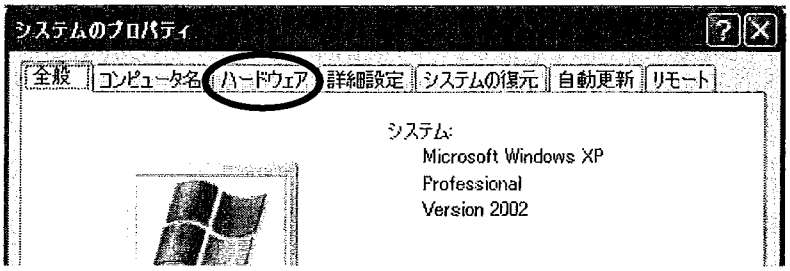
（１６）次に実際に割り当てられたＣＯＭポート番号を確認します。ここで確認したＣＯＭポート番号を、通信ソフトの「シリアルポートの設定」で設定する事になります。
ＰＣの動作環境が変わるとＣＯＭポート番号は変わる事がありますので、ＬＤ－３の接続毎に確認する事をおすすめします。（ＬＤ－３が接続されていない状態でＣＯＭポート番号を確認する事は出来ません。）

（１７）「スタート」よりコントロールパネルを開きます。

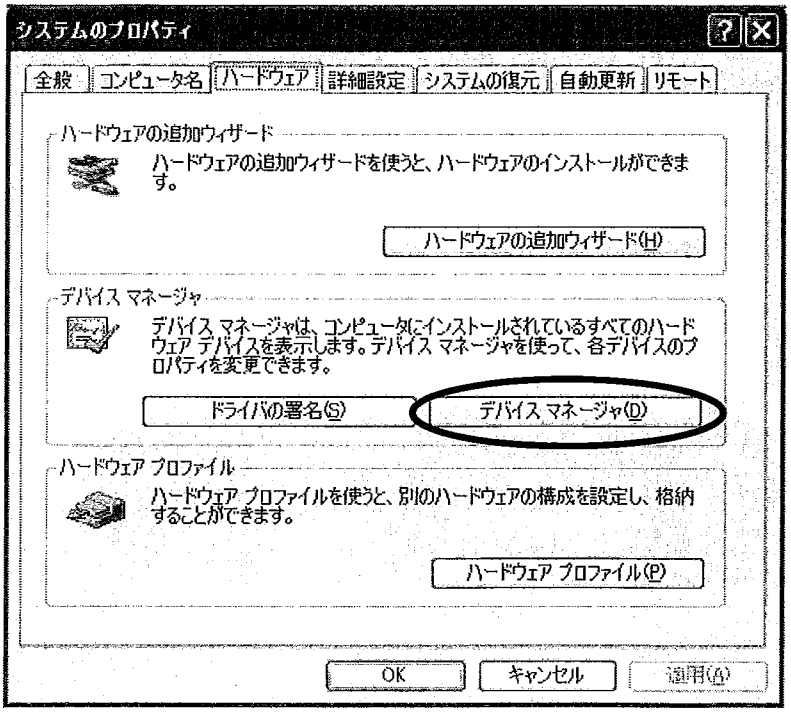
（１８）プリンタとその他のハードウェアを開きます。



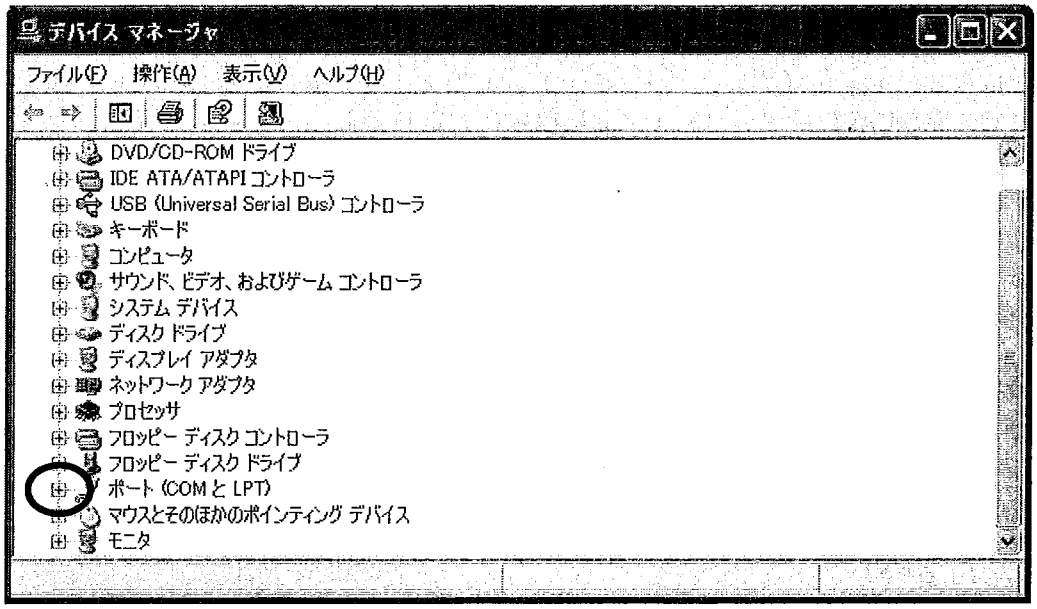
（１９）システムを開きます。



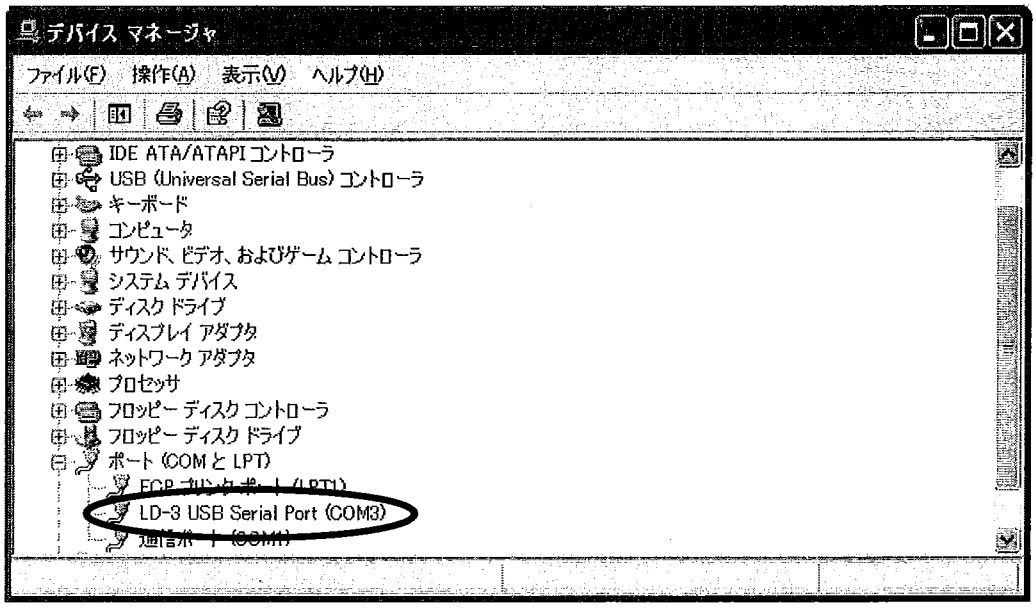
（２０）ハードウェアを開きます。



（２１）「デバイスマネージャ（D）」を開きます。



（２２）ポート（ＣＯＭとＬＰＴ）の田をクリックします。



（２３）LD-3 USB Serial Port(COM3)のように表示されます。
ここで表示される(COM3)の３がＣＯＭポート番号になります。
この場合は通信ソフトの「シリアルポートの設定」で３を設定します。

（２４）デバイスマネージャ、システムのプロパティ、コントロールパネルを閉じます。

５．２．２．Ｗｉｎｄｏｗｓ　９８、Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｍｅマシンへのインストール

（１）　ＰＣの電源をＯＮし、Ｗｉｎｄｏｗｓを起動させます。

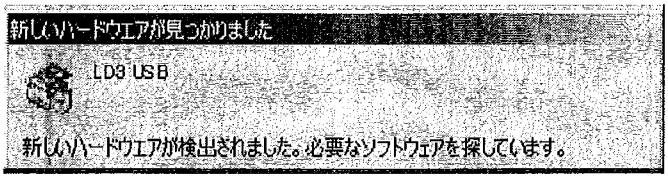
（２）　ＬＤ－３のＰＯＷＥＲ（電源）をＯＮします。

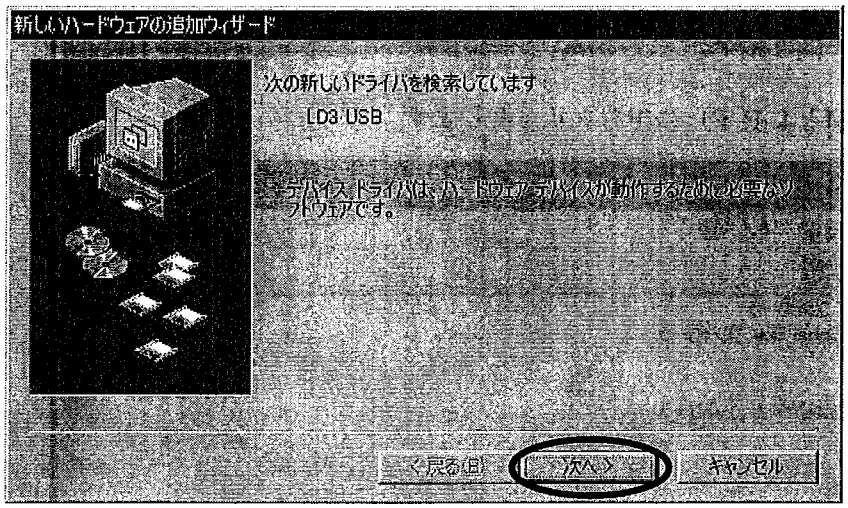
（３）　ＬＤ－３のＩ／Ｆ（インターフェース）がＵＳＢ－Ｉ／Ｆに設定されている事を確認します。違う場合にはＵＳＢ－Ｉ／Ｆに設定に設定します。

（４）　ＬＤ－３が測定開始可能状態である事を確認します。測定中またはメニュー画面が表示されている状態では通信が出来ません。

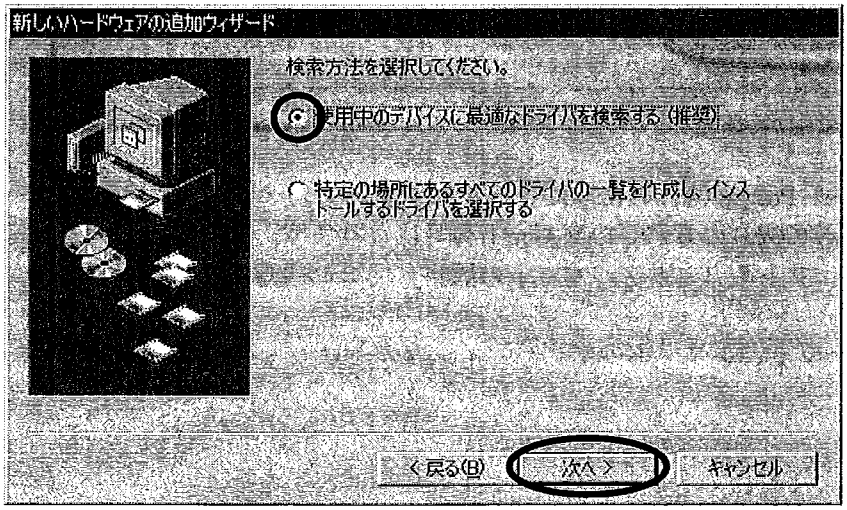
（５）　ＵＳＢ通信ケーブルでＰＣとＬＤ－３（ＤＩＧＩＴＡＬコネクタ）を接続します。

（６）　しばらく待つとＰＣがＬＤ－３の接続を認識し、次の画面を表示します。
一度ＵＳＢドライバが正常にインストールされると、これ以降の画面は表示されません。

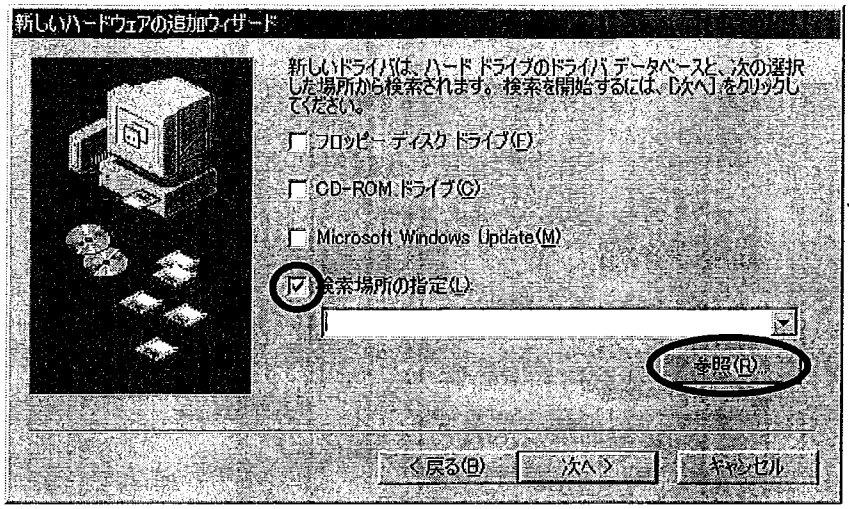




（７）　「次へ(N)」をクリックすると、次の画面を表示します。

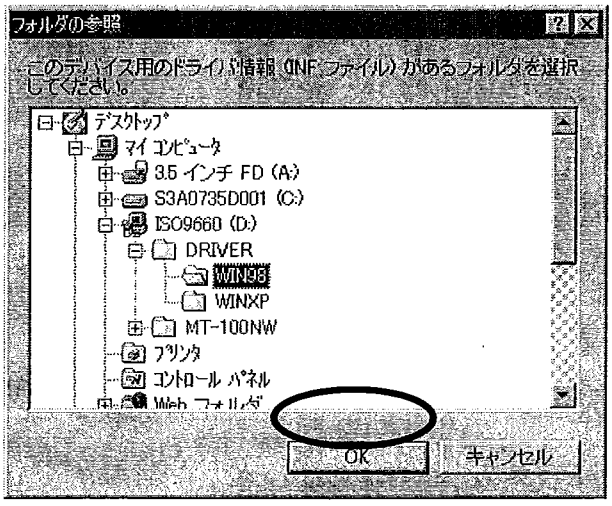


（８）　使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）を選択し、「次へ(N)」をクリックます。



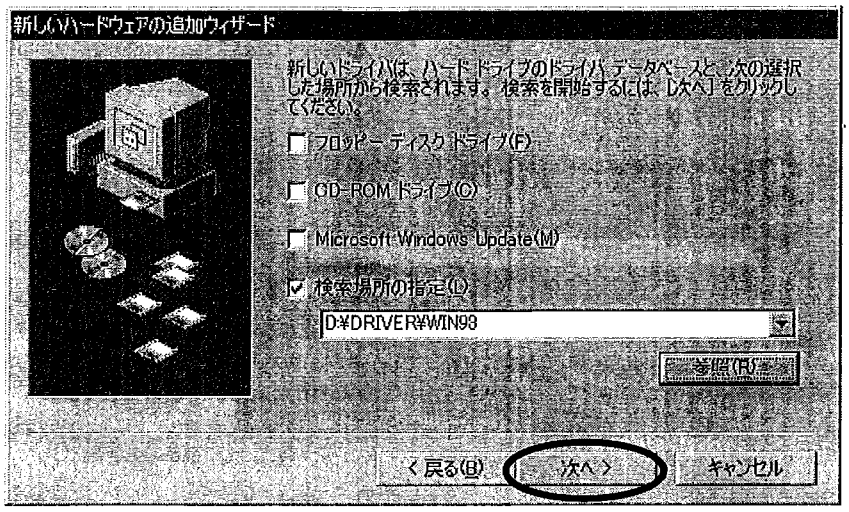
（9） 検索場所の指定（L）を選択します。
ＣＤドライブに「ＬＤ－３シリーズ・ＬＤ－５Ｄ用通信ソフト」のＣＤ－ＲＯＭを入れます。
この操作以降、「ＬＤ－３シリーズ・ＬＤ－５Ｄ用通信ソフト」のインストールプログラムが起動してしまった場合には、「キャンセル」をクリックしてインストールプログラムを終了してください。

（１０）次に「参照（R）」をクリックしドライバの場所を指定します。

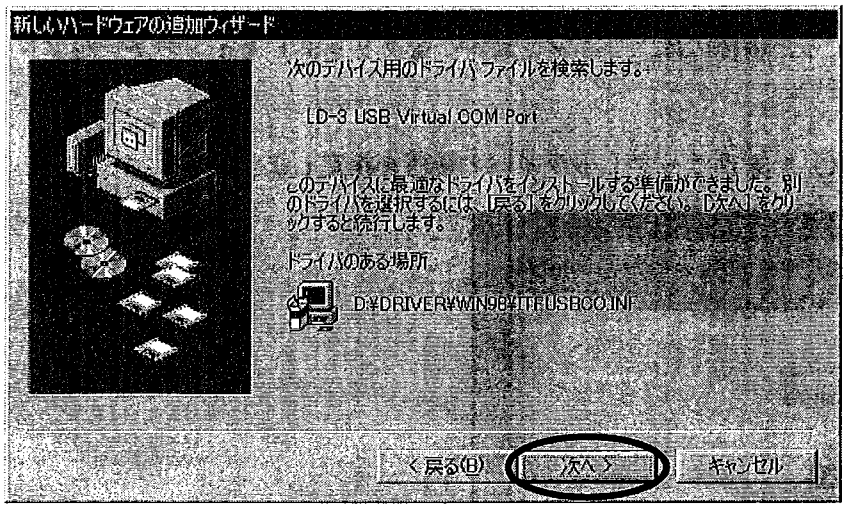


この画面の例ではＣＤドライブがＤドライブとなっていますので、
Ｄ：ドライブ→ＤＲＩＶＥＲフォルダ→ＷＩＮ９８フォルダ
を指定しています。
ＣＤドライブ番号は御使用のＰＣ環境によって変わりますので実際のＣＤドライブ番号を指定してください。

（１１）「ＯＫ」をクリックすると次の画面が表示されます。

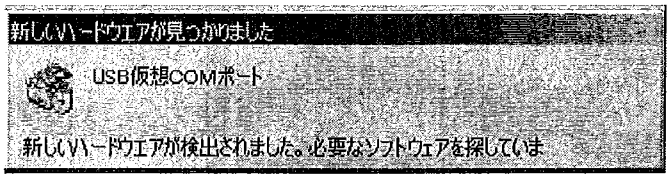


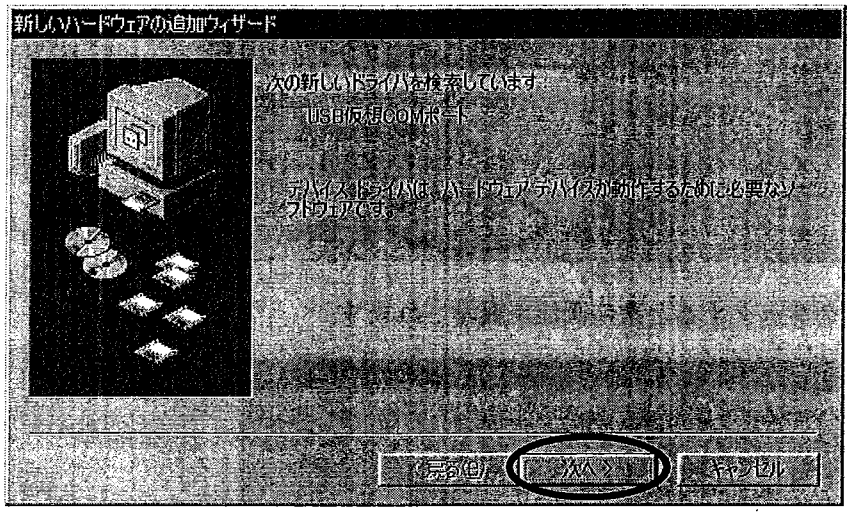
（１２）「次へ(N)」をクリックすると次の画面が表示されます。



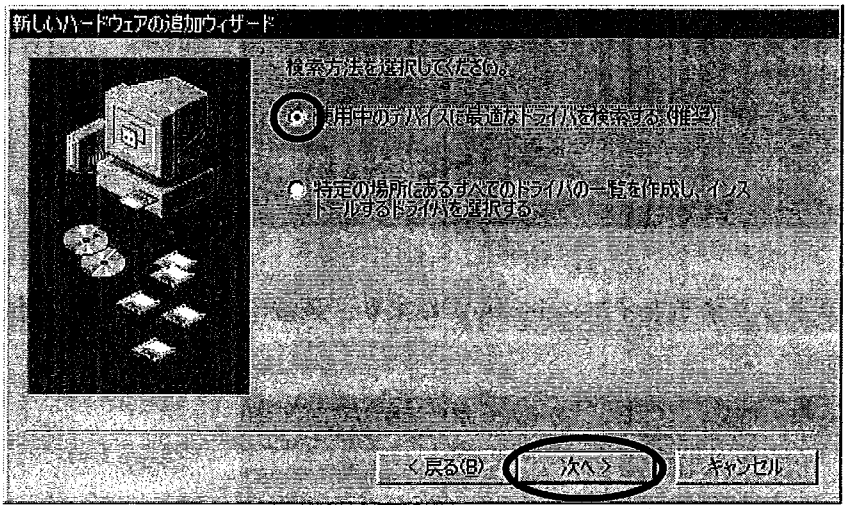
（１３）「次へ(N)」をクリックするとインストールが始まり、正常に終了すると次の画面が表示されます。

（１４）完了をクリックして、LD-3 USB Virtual COM Port のインストールを終了します。
引き続き、USB 仮想 COM ポートのドライバをインストールします。
次の画面が表示されます。

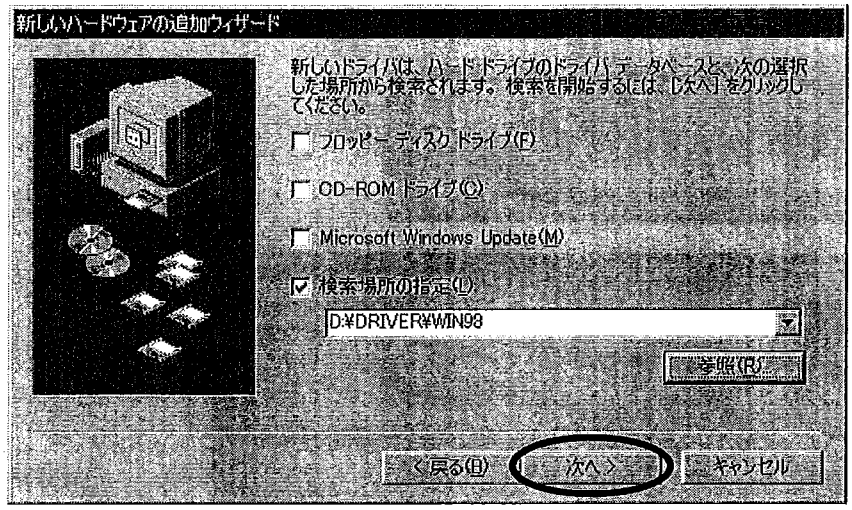




（１５）「次へ(N)」をクリックすると、次の画面を表示します。

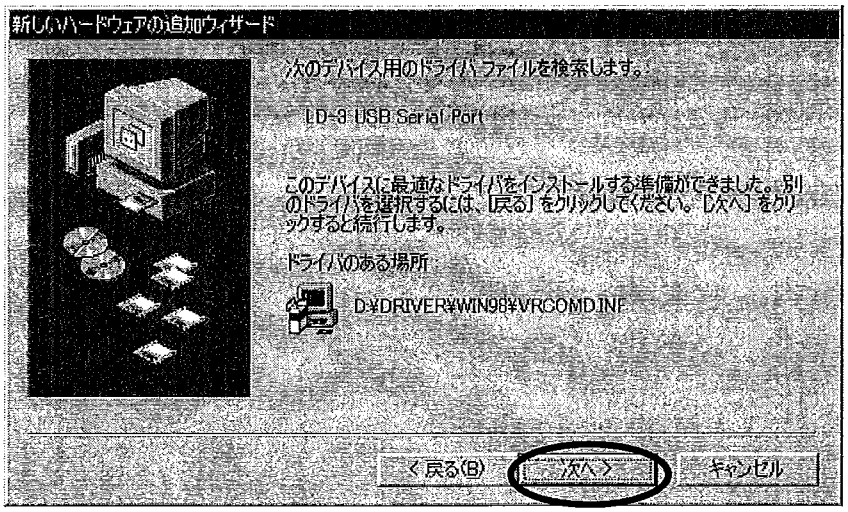


（１６）使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）を選択し、「次へ(N)」をクリックます。



（１７）「次へ(N)」をクリックすると次の画面が表示されます。

（１８）「次へ(N)」をクリックするとインストールが始まり、正常に終了すると次の画面が表示されます。



（１９）完了をクリックして、LD-3 USB Serial Port のインストールを終了します。

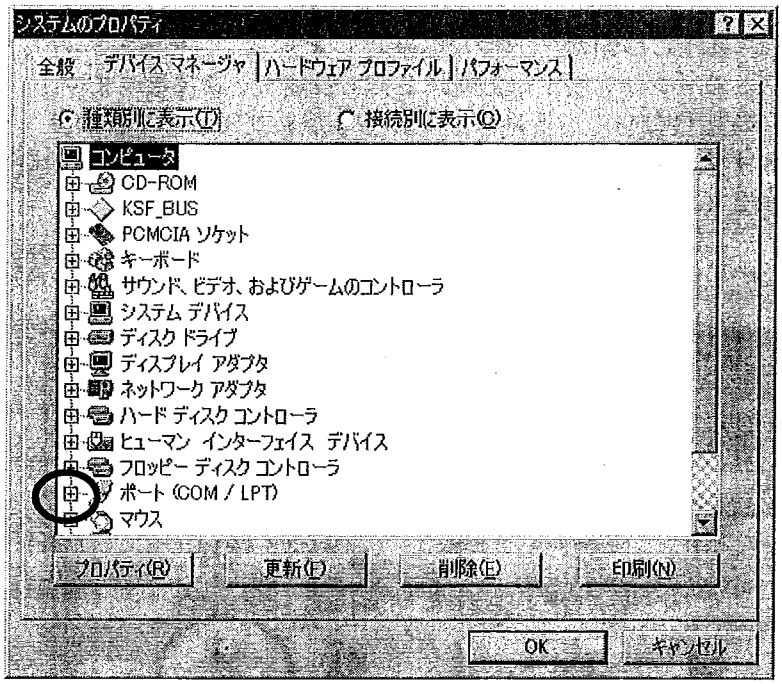
（２０）ＣＤ－ＲＯＭを取り出し、大切に保管してください。

（２１）次に実際に割り当てられたＣＯＭポート番号を確認します。ここで確認したＣＯＭポート番号を、通信ソフトの「シリアルポートの設定」で設定する事になります。
ＰＣの動作環境が変わるとＣＯＭポート番号は変わる事がありますので、ＬＤ－３の接続毎に確認する事をおすすめします。（ＬＤ－３が接続されていない状態でＣＯＭポート番号を確認する事は出来ません。）

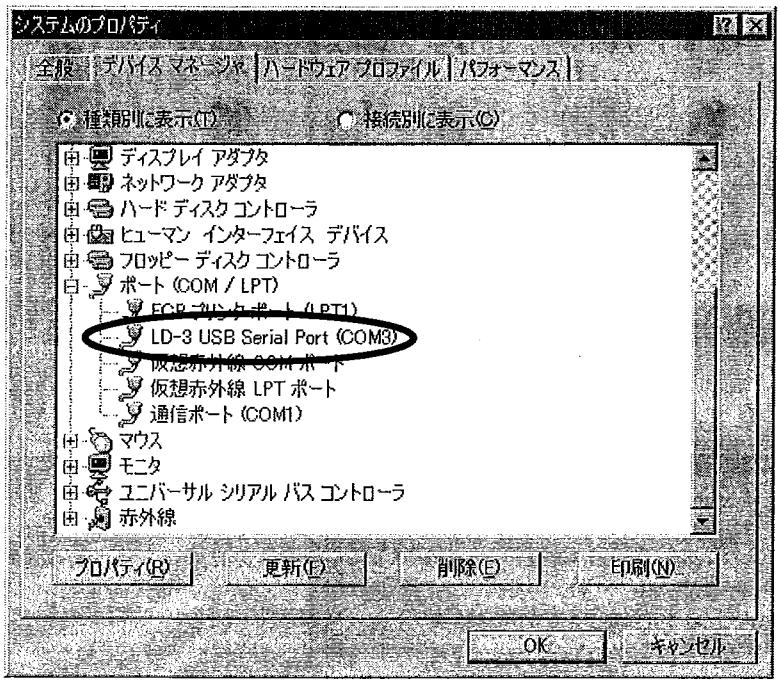
（２２）「スタート」→「設定」よりコントロールパネルを開きます。

（２３）システムを開きます。

（２４）デバイスマネージャを開きます。



（２５）ポート（ＣＯＭとＬＰＴ）の田をクリックします。



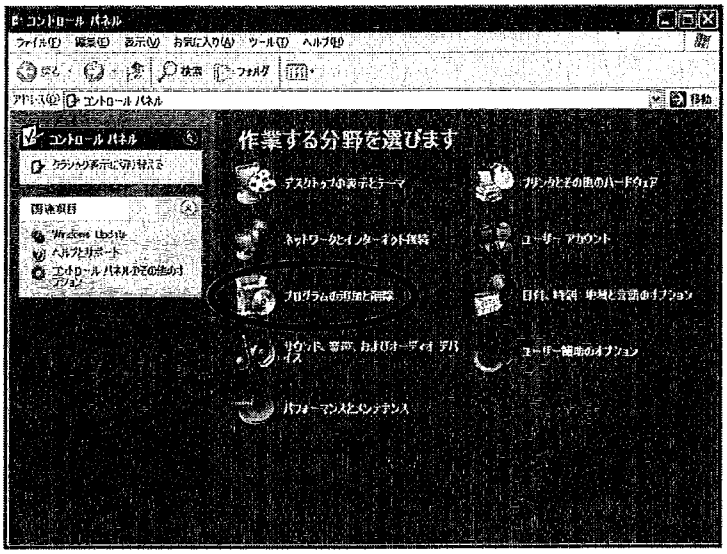
（２６）　LD-3 USB Serial Port(COM3)のように表示されます。
ここで表示される(COM3)の３がＣＯＭポート番号になります。
この場合は通信ソフトの「シリアルポートの設定」で３を設定します。

（２７）システムのプロパティ、コントロールパネルを閉じます。

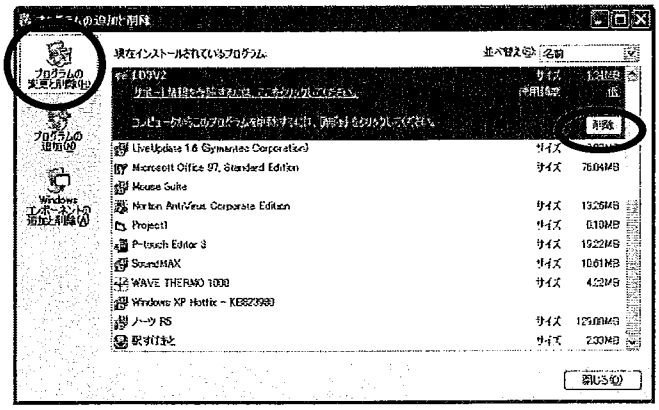
６．ＬＤ－３シリーズ・ＬＤ－５Ｄ用通信ソフトのアンインストール

ソフトウェアのバージョンアップ等の理由によりインストールされている「ＬＤ－３シリーズ用通信ソフト」をアンインストール（削除）する必要がある場合には次の方法で行ってください。

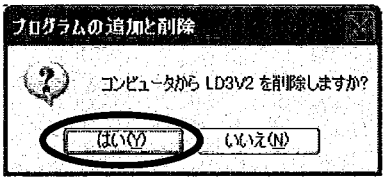
（１）「スタート」より「コントロールパネル」内の「プログラムの追加と削除」を開きます。
ＰＣの設定によりコントロールパネルの表示は下図とは異なる場合があります。



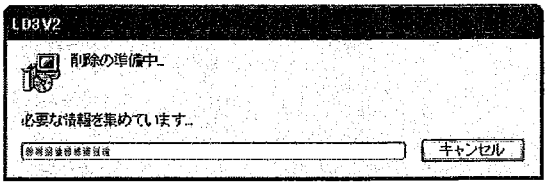
（２）「プログラムの変更と削除(H)」でＬＤ３Ｖ２を選択します。「プログラムの変更と削除(H)」が選択されてていない場合には選択します。



「削除」をクリックします。



（３）「はい(Y)」をクリックするとアンインストールが開始されます。



表示が消えるとアンインストールの終了です。

７．プログラムの起動

７．１．ＬＤ－３とＰＣの接続

ＬＤ－３をＰＣに接続します。ＬＤ－３のＰＯＷＥＲ（電源）はＯＮ・ＯＦＦどちらでも特に問題はありません。接続後に本ソフトウェアを起動しＬＤ－３のＰＯＷＥＲ（電源）をＯＮすると通信不良が起こる事がありますが、そのときは再度メニューを選択してください。

ＬＤ－３をＵＳＢポートに接続する場合には、ＵＳＢドライバがインストールされている必要があります。（５．３．ＵＳＢドライバのインストール　参照）

ＬＤ－３が測定中あるいはメニュー処理中の時はＰＣとの通信は出来ませんので測定、メニュー処理は終了させて下さい。

専用通信ケーブルはＬＤ－３のＤＩＧＩＴＡＬまたはＲＳ２３２Ｃコネクタに接続します。

デジタル粉じん計ＬＤ－３Ｂ、ＬＤ－３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄを使用する場合には接続するケーブルに合わせて本体メニューのＩ／Ｆ（インターフェース）を設定してください。

ＵＳＢポートに接続して一度処理（ＲＥＡＤ、ＳＥＴ、ＤＥＬ）を行ったあとで、通信ケーブルを抜き挿しして再度処理（ＲＥＡＤ、ＳＥＴ、ＤＥＬ）を行うと接続エラーが発生します。その場合にはＳＥＴメニューのシリアルポートの設定で通信ポートＣＯＭ番号はそのままで変更をクリックして下さい。（３１ページ７．４．２．ＳＥＴ　（５）項を参照）正常に通信が出来るようになります。

７．２．プログラムの起動

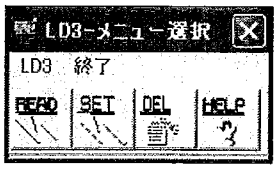
「スタート」→「すべてのプログラム」→「LD3V2」→「LD3」をクリックします。

「スタート」→「すべてのプログラム」に「LD3V2」が無い場合には次の方法でプログラムを起動します。

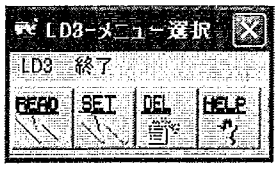
インストール時にインストール先を変更しなかった場合は、実行プログラムは C:¥Program Files¥SIBATA¥LD3V2 にインストールされます。「LD3.exe」を起動してください。

インストール時にインストール先を変更した場合は、指定したインストール先の「LD3.exe」を起動してください。

７．３．起動時の画面



７．４．メニュー選択画面

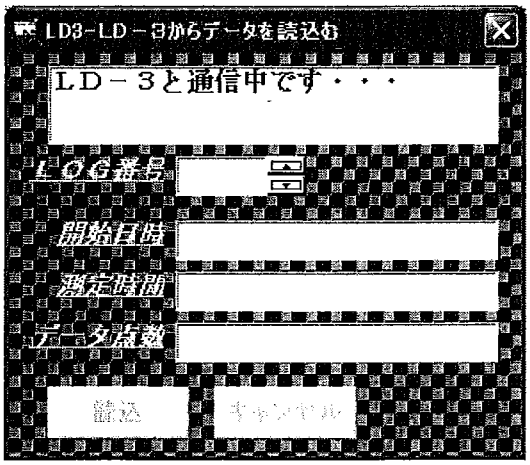


READ：ＬＤ－３のログ（記録）データを読込み、ＰＣにファイルとして保存します。
ＳＥＴ：ＬＤ－３に時計、測定条件を送信します。
　　ＰＣの通信ＣＯＭポート設定を変更します。
ＤＥＬ：ＬＤ－３のログ（記録）データを削除します。
ＨＥＬＰ：ヘルプファイルを表示します。本ソフトウェアの操作方法が表示されます。
終　了：本ソフトウェアを終了します。

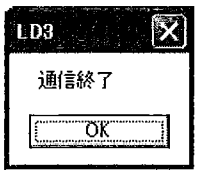
７．４．１．ＲＥＡＤ

メニュー選択画面で ＲＥＡＤ ボタンをクリックします。

（１）　ＬＤ－３とＰＣが正常に接続されていると次の画面が表示されます。



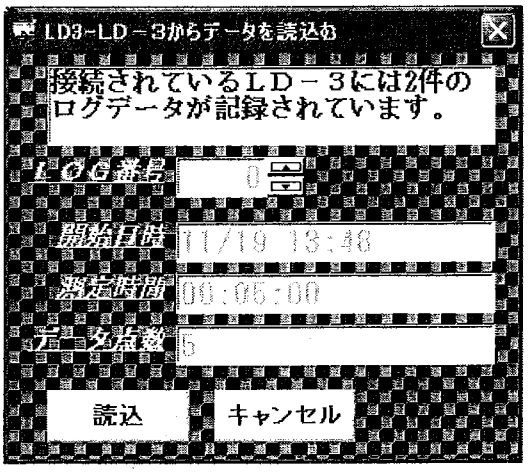
（２）　ＬＤ－３からのロギングデータ情報読込が正常に終了すると次の画面が表示されます。



（３）　ＯＫをクリックすると次の画面が表示されます。接続機種により画面が変わります。

ＬＤ－３Ｂ／３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄの場合

ＬＤ－３／３Ｋ／１Ｈ$_2$の場合



（4） 読込を行いたいＬＯＧ番号を、ＬＯＧ番号表示部右横にある▲▼ボタンをクリックして設定します。０及びロギング番号の最大値を越えての設定できません。

▲ をクリックするとＬＯＧ番号は＋１されます。

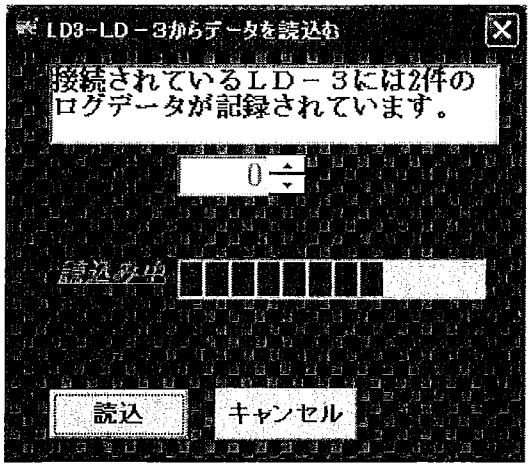
▼ をクリックするとＬＯＧ番号は－１されます。

＊ＬＤ－３に記録されている測定値はＬＯＧ番号で管理されています。

ロギング測定の順番に０　１　２　・・・１２３と記録されます。

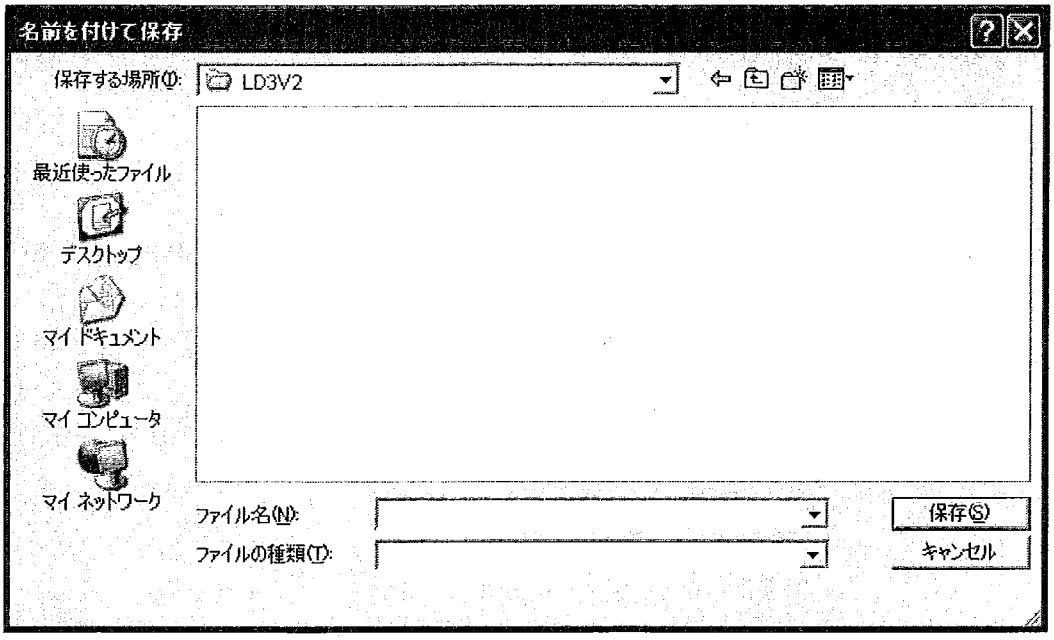
読込を行いたいＬＯＧ番号が決まったら**読込**をクリックすると次の画面が表示されます。

処理を中断したい場合には**キャンセル**をクリックします。この画面が閉じます。



（5） ロギングデータの読込が正常に終了すると次の画面が表示されます。

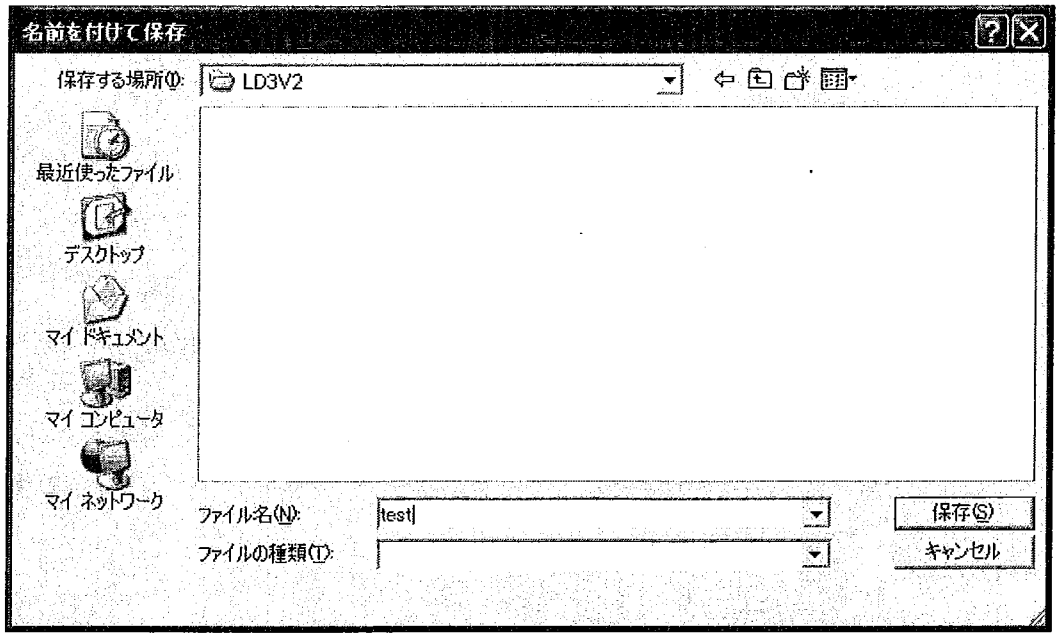
（6） ＯＫをクリックすると次の画面が表示されます。



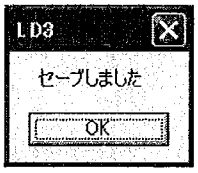
（7） 読み込んだＬＯＧデータを保存するフォルダ及びファイル名を指定します。

保存先フォルダは初期値として実行ファイルのインストール先フォルダが表示されます。

次の画面の例では、保存ファイル名として test を指定しています。ファイル名の拡張子を指定しないと.CSV が自動的に付加されます。

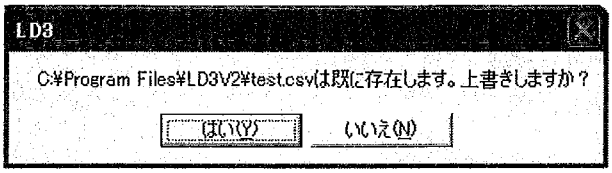


（8） 保存(S)をクリックし、ＬＯＧデータの保存が正常に終了すると次の画面が表示されます。



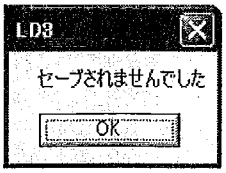
ＯＫをクリックして保存処理を終了します。
読込・保存を行いたいＬＯＧデータがまだある場合には、（４）ＬＯＧ番号の指定から再度繰り返します。
＊ 一度の操作で全てのＬＯＧデータを読込・保存することは出来ません。

（9） 指定したファイル名と同じ名前のファイルが既に存在すると次の画面が表示されます。



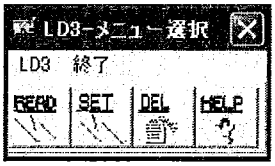
はい(Y)をクリックすると上書き保存されます。いいえ(N)をクリックすると保存メニューが閉じます。

（１０） 処理を中断したい場合にはキャンセルをクリックします。キャンセルをクリックすると次の画面が表示されます。



ＯＫをクリックすると保存メニューが閉じます。

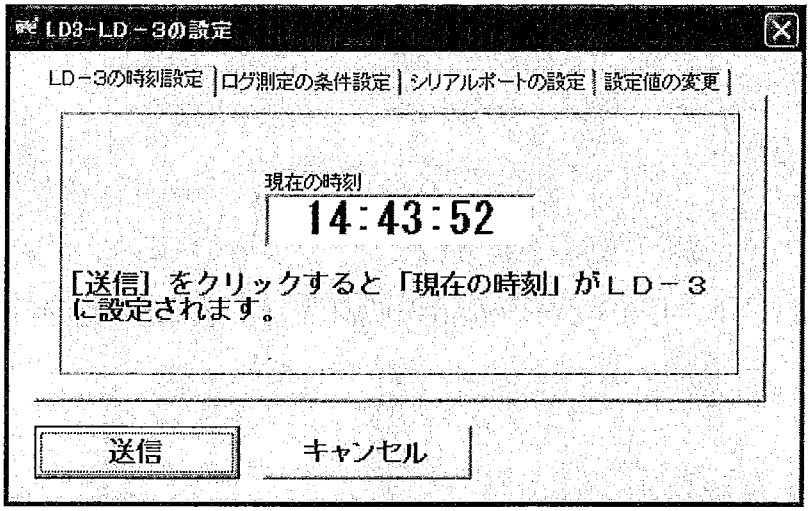
7．4．2．SET



メニュー選択画面で ＳＥＴ ボタンをクリックします。

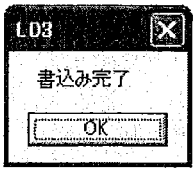
（1） ＬＤ－３とＰＣが正常に接続されていると次の画面が表示されます。

処理を中断したい場合にはキャンセルをクリックします。この画面が閉じます。



送信をクリックすると現在の日付・時刻（ＰＣの時計）がＬＤ－３へ送信されセットされます。

（2） 時刻の設定が正常に行われると次の画面が表示されます。

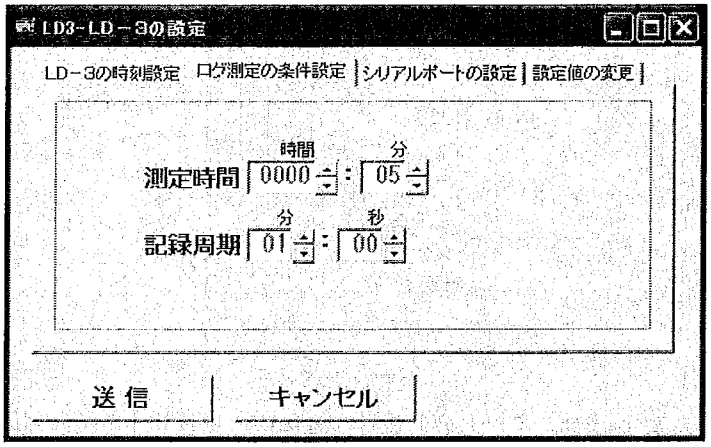


ＯＫをクリックしてＬＤ－３の時刻設定を終了します。

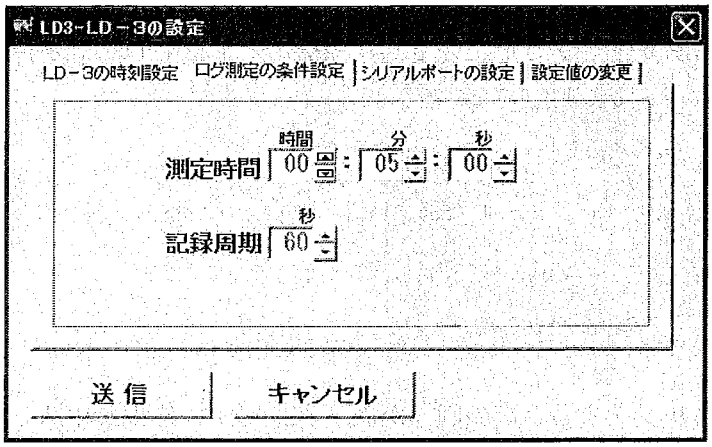
（3） ログ測定の条件設定タブをクリックすると次の画面が表示されます。処理を中断したい場合にはキャンセルをクリックします。この画面が閉じます。

接続機種により画面が変わります。

ＬＤ－３Ｂ／３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄの場合



ＬＤ－３／３Ｋ／１H_2の場合



ログ測定の条件を設定します。

測定時間の設定範囲は機種により異なります。

ＬＤ－３Ｂ／３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄ　：００００時間０１分　～９９９９時間５９分

ＬＤ－３／３Ｋ／１H_2　：００時間００分０１秒～９９時間５９分５９秒

記録周期の設定範囲は機種により異なります。

ＬＤ－３Ｂ／３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄ　：００分０１秒～９９分５９秒

ＬＤ－３／３Ｋ／１H_2　：　０１秒～６０秒

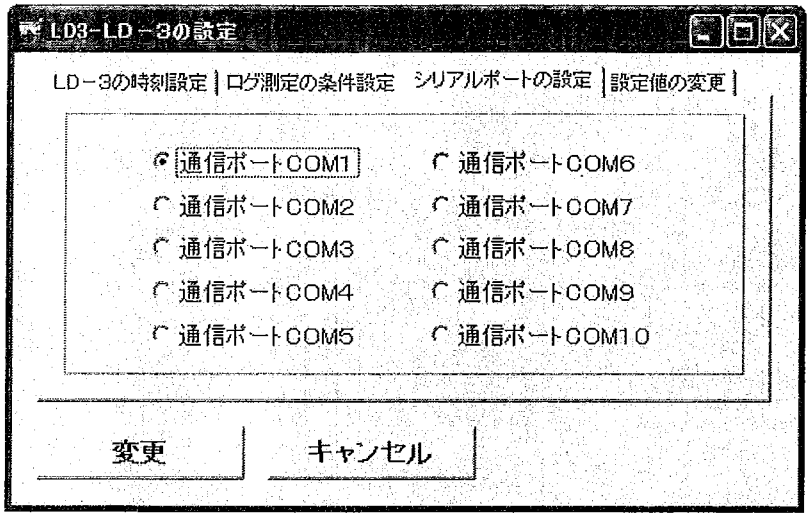
設定値の変更は▲▼ボタンをクリックして行います。設定範囲を超えての設定は出来ません。

送信をクリックすると現在の設定値（測定時間と記録周期）がＬＤ－３へ送信されセットされます。

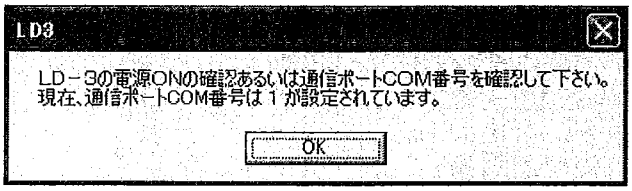
（4） ログ測定の条件設定が正常に行われると次の画面が表示されます。

ＯＫをクリックしてログ測定の条件設定を終了します。

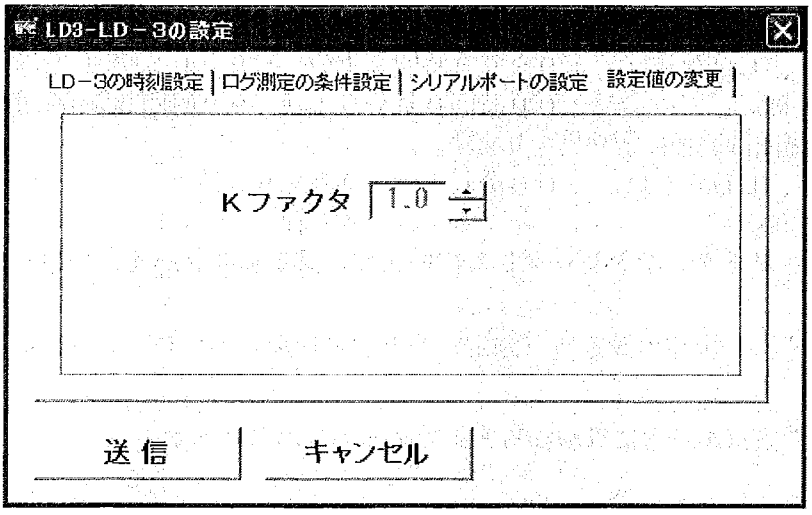
（5） シリアルポートの設定タブをクリックすると次の画面が表示されます。処理を中断したい場合にはキャンセルをクリックします。この画面が閉じます。



通信ポートＣＯＭ番号を変更します。変更したい番号の○をクリックして◉の状態にし、変更をクリックします。変更が正常に終了するとＬＤ－３の設定画面が閉じます。
通信ポートＣＯＭ番号を変更する場合には、あらかじめ有効な通信ポートに接続ケーブルを接続しておく必要があります。設定を変更した通信ポートにＬＤ－３が接続されていないとエラー画面が表示されます。

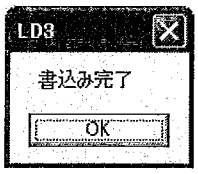


（6） 設定値の変更タブをクリックすると次の画面が表示されます。処理を中断したい場合にはキャンセルをクリックします。この画面が閉じます。



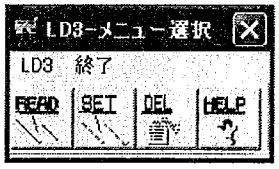
ＬＤ－３のＫ値（質量濃度換算係数）を設定します。
設定範囲は０．１から９．９までです。
設定値の変更は▲▼ボタンをクリックして行います。設定範囲を超えての設定は出来ません。
送信をクリックすると現在の設定値がＬＤ－３へ送信されセットされます。

（7） K値の設定が正常に行われると次の画面が表示されます。



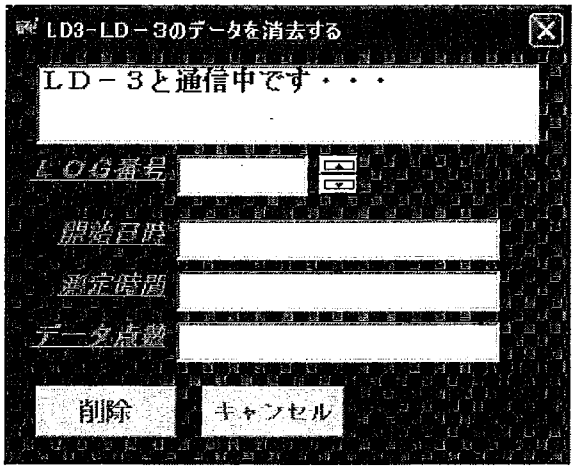
ＯＫをクリックして設定値の変更を終了します。

7．4．3．DEL

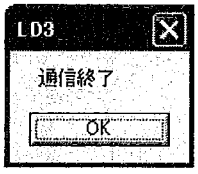


メニュー選択画面で ＤＥＬ ボタンをクリックします。

（1） ＬＤ－３とＰＣが正常に接続されていると次の画面が表示されます。

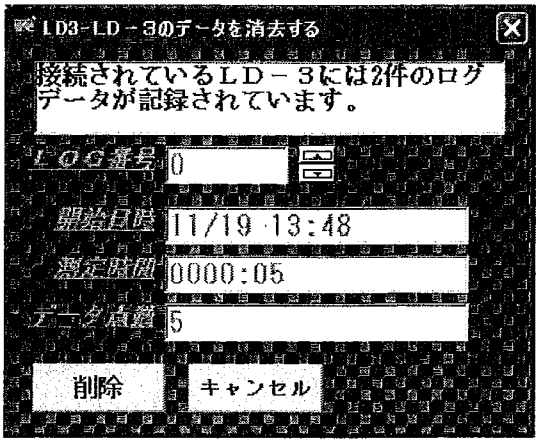


（2） ＬＤ－３からのロギングデータ情報読込が正常に終了すると次の画面が表示されます。

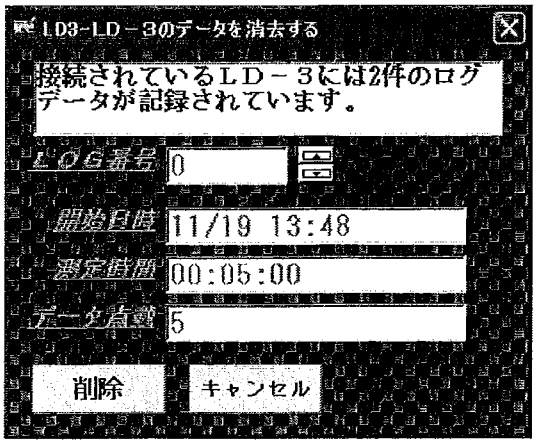


（3） ＯＫをクリックすると次の画面が表示されます。処理を中断したい場合にはキャンセルをクリックします。この画面が閉じます。接続機種により画面が変わります。

ＬＤ－３Ｂ／３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄの場合



ＬＤ－３／３Ｋ／１H_2の場合

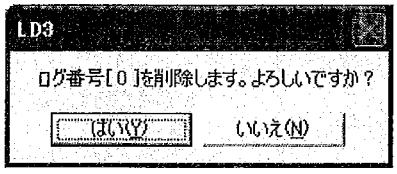


（4） 削除したいＬＯＧ番号を▲▼ボタンをクリックして設定します。０及びロギング番号の最大値を越えての設定できません。

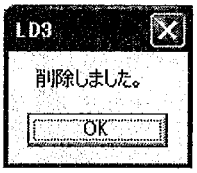
▲ をクリックするとＬＯＧ番号は＋１されます。

▼ をクリックするとＬＯＧ番号は－１されます。

（5） 削除をクリックすると削除の確認画面が表示されます。処理を中断するには いいえ(N)をクリックします。

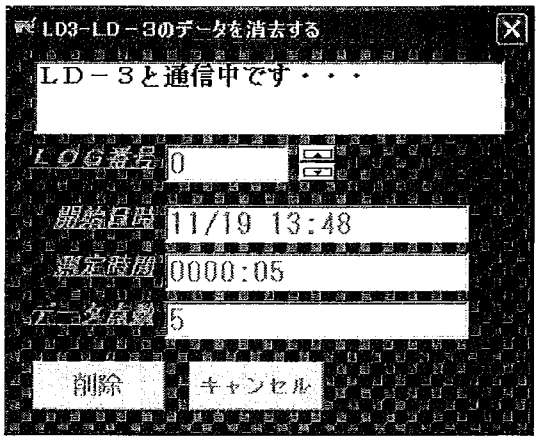


（6） はい(Y)をクリックすると指定したＬＯＧ番号の測定データが削除され次の画面が表示されます。

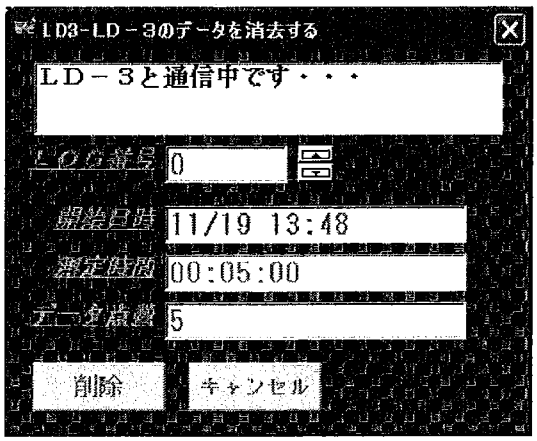


（7） ＯＫをクリックすると次の画面が表示されます。接続機種により画面が変わります。

ＬＤ－３Ｂ／３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄの場合

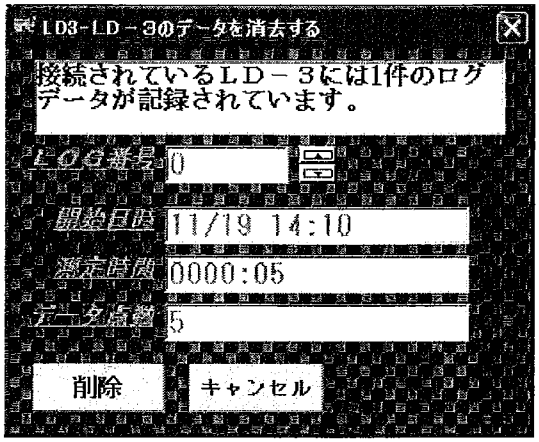


ＬＤ－３／３Ｋ／１H_2の場合

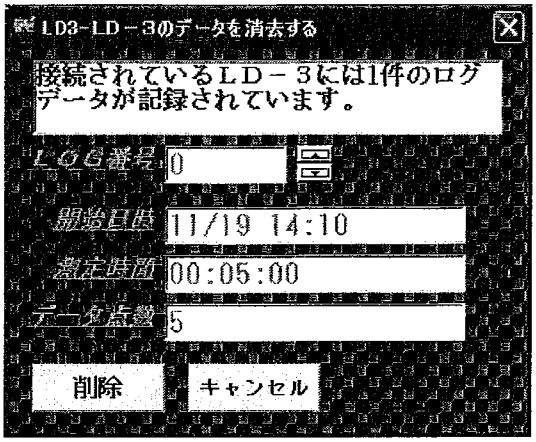


（8） ＬＤ－３からのロギングデータ情報読込が正常に終了すると次の画面が表示されます。接続機種により画面が変わります。

ＬＤ－３Ｂ／３Ｋ２、ＬＤ－５Ｄの場合

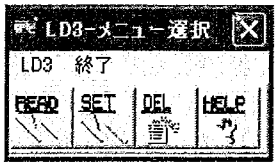


ＬＤ－３／３Ｋ／１H_2の場合



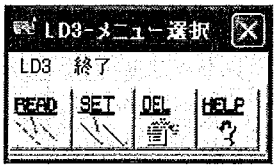
（9） ＤＥＬメニューを抜けるにはキャンセルをクリックします。

７．４．４．ＨＥＬＰ

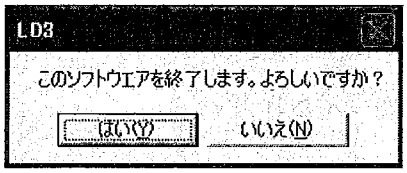


メニュー選択画面で ＨＥＬＰ ボタンをクリックします。
本ソフトウェアの操作方法が表示されます。

７．４．５．終了



メニュー選択画面で終了をクリックすると次の画面が表示されます。

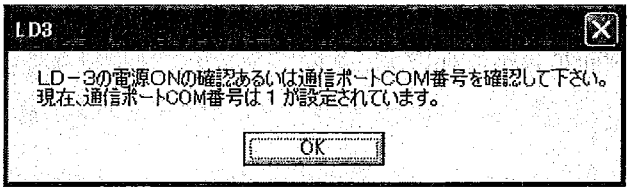


はい(Y)をクリックすると本ソフトウェアを終了します。。
いいえ(N)をクリックするとメニュー選択画面に戻ります。

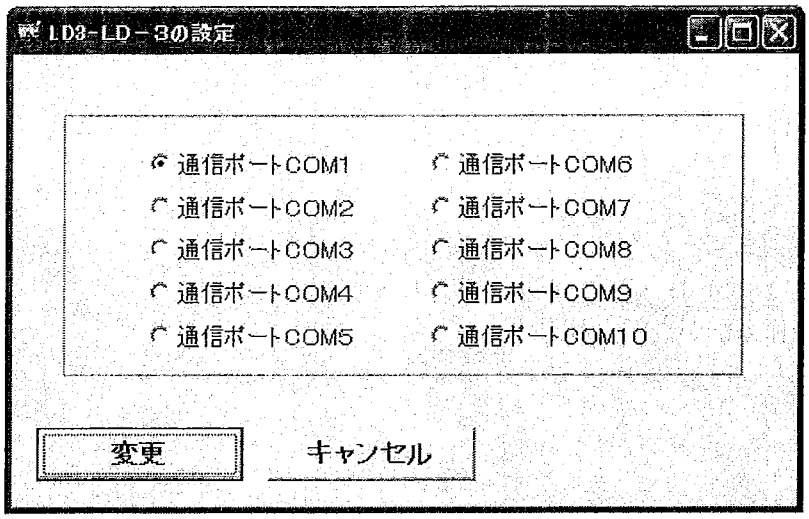
８．エラー表示画面

８．１．接続エラー

ＬＤ－３とＰＣの接続に異常があると次の画面が表示されます。



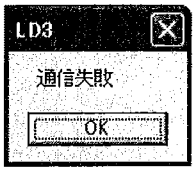
ＯＫをクリックしてＬＤ－３の電源及びＬＤ－３とＰＣの接続を確認してください。
ＲＥＡＤ、ＤＥＬをクリックしてこのエラー画面が表示された場合には ＳＥＴ をクリックして下さい。再度エラー画面が表示されますがＯＫをクリックすると次の画面が表示されます。



通信ポートＣＯＭ番号の設定が違っていた場合には正しい番号に変更します。
変更したい番号の○をクリックして◉の状態にし、変更をクリックします。
通信が正常に行われるとこの画面が閉じます。それでも接続に異常があると再度エラー画面が表示されます。

８．２．通信エラー

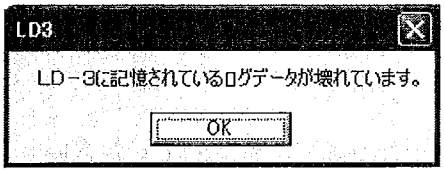
ＬＤ－３からの受信データに異常があると次の画面が表示されます。



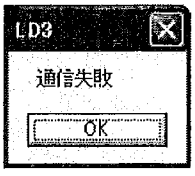
ＯＫをクリックするとこの画面が閉じます。通信エラー（ノイズ等）が考えられますので、再度 ＲＥＡＤ をクリックして読込動作を試みてください。

８．３．ロギングデータエラー

ロギングデータに異常があると次の画面が表示されます。



ＯＫをクリックするとこの画面が閉じ、次の画面が表示されます。



ＯＫをクリックするとこの画面が閉じます。もう一度 ＲＥＡＤ ボタンをクリックします。
再度読込が正常に行えない場合には測定データが壊れている可能性があります。
ログデータの保存（バックアップ）が正常に行われていなかった可能性があります。

9．保証

当社製品が万一故障した場合は、ご購入より１ヵ年以内は無償修理いたします。
修理の際は、必ずお買い上げ販売店、又は当社各営業所に直接ご連絡ください。
その際は必ず、品目コード・製品名・形式・№・故障内容などをお知らせください。
付属の消耗品に関しては、保証の範囲外です。
故障原因が次の場合は、保証範囲外となり有償となります。

① 使用方法の誤りによる故障
② 当社以外での修理・改造による故障及び損傷
③ 火災・地震・天災などの不可抗力などによる故障及び損傷
④ お買い上げ後の転送・移動・落下・振動などによる故障及び損傷
⑤ 当社指定以外の消耗品類に起因する故障及び損傷
⑥ 購入店の販売日・捺印のない場合又は記載事項を訂正された場合
⑦ **『改造修理禁止』**分解や改造等をした場合は、当社の保証外となりますので絶対にしないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因となることがあります。

04.05.11K(03)

SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.
柴田科学株式会社
本　社　〒110-8701 東京都台東区池之端3-1-25
東京営業所 ☎(03) 3822-2111　福岡営業所 ☎(092) 471-5515
大阪営業所 ☎(06) 6356-8131　仙台営業所 ☎(022) 308-6341
名古屋営業所 ☎(052) 263-9310
ホームページURL=http://www.sibata.co.jp/

注）改良のため形状，寸法，仕様等を機能，用途に差し支えない範囲で変更する場合があります。